



議会だより



いちさんぱち

2019年2月号

| | |
|-------------|-----|
| 平成29年度の決算審査 | 1 |
| 常任委員会 | 3 |
| 一般質問 | 4 |
| 議案・請願審議結果 | 8 |
| 行政視察受入状況 | 10 |
| Doors トピックス | 裏表紙 |

14階「議場傍聴席」

議場で行われる本会議を傍聴するために、設けられているのがこの「議場傍聴席」。13階の議場を一望することができるこの傍聴席には、いつも多くの市民の皆さんにお越しいただいています。

ケーブルテレビやインターネットでも議会中継はご覧いただけますが、やはり臨場感は格別です。来られたことのない方は、一度体感してみたいはいかがでしょうか。

議会の傍聴へぜひお越しください。（次回定例会の日程は9ページをご覧ください。）

12月定例会の概要

12月定例会は、11月26日から12月17日まで22日間の会期で行われました。

- 11月26日の開会日には、閉会中の継続審査としていました認定議案10件について、各常任委員会委員長から審査結果が報告され、いずれも認定されました。その後、一般会計の補正予算案など23議案と1件の報告が市長から提出されました。
- 11月30日、12月3日、4日の3日間に15人の議員が市政全般に対する一般質問を行いました。4日には開会日に提出された議案の質疑を行い、さらに、市長から1件の議案が追加で提出された後、24議案と請願書3件を常任委員会に付託しました。
- 12月6日～11日までに開催した総務・福祉健康・経済教育・建設水道の各常任委員会において付託された各議案を審査しました。
- 12月17日の閉会日には、各常任委員会委員長から審査結果が報告され、討論を経て、市長提出の24議案を原案どおり可決しました。その後、議員から2件の議案を提出し、いずれも可決しました。また、前回からの継続審査を含む請願書4件は継続審査としました。さらに、市長から11件の同意議案が追加で提出され、全ての議案に同意しました。

議案等の内容については、広報一宮9ページ及び一宮市のウェブサイト(ホームページ)をご覧ください。

ID 1019392(条例関係)
ID 1023457(平成30年度予算)

各記事に掲載の **ID** (7桁の数字) を、市ウェブサイトの「ページID検索」に入力すると、該当記事の情報がダイレクトに表示されます。

ID 1000010 **表示**

平成29年度の決算審査

9月定例会で閉会中の継続審査となった決算認定議案を10月15日から31日にかけて4つの常任委員会で審査しました。

・紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。

・委員会記録は1月中旬にウェブサイトに掲載予定です。

ID 1022724

総務委員会

ストレスチェックについて

Q ストレスチェックで、高ストレスと判定される職員が、年々増加しているが、どのような予防策をとっているのか。

A メンタルヘルスに関する刊行物の配付や職員研修での周知を行っています。また月に1度、希望者には臨床心理士と面談できる時間を設けています。

Q 高ストレスと判定された職員に対してはどのような対応をしているのか。

A 結果を本人に通知するとともに、必要に応じて所属長にも送付し、各職場で状況に応じた対策を行っています。また、希望者は、医師との面談も行っています。

市政アンケートについて

Q 市政アンケートの回答率が他のアンケートに比べて低いのはなぜか。

A アンケート調査の回答率は高齢者層が高く、現役世代は低い傾向があります。平成29年度の市政アンケートは試行的に回答率の低い現役世代の比率を高くして抽出したためです。

意見 アンケートの回答方法を従来の郵送に加え、インターネットでも行えるように検討して

ほしいとの意見があった。



正規職員の補充について

Q 臨時職員に支払われている賃金は総額で正規職員を300人程度採用できる金額になっている。合併時と比べて、職員数を減らしているとの説明されているが、賃金は人件費に含まれないので見かけ上減っているだけではないのか。臨時職員ではなく正規職員で補充できないのか。

A 臨時職員は、繁忙期や正規職員の育児休業期間などに、その業務内容やコスト、市民サービスへの影響等を考慮しながら雇用しており、これを正規職員で補充することは考えていません。

運転免許証自主返納について

意見 ーバスの回数券等を配付しているが、バス停が近くにない人にとっての支援になっていないので、制度の充実をしてほしいとの意見があった。

福祉健康委員会

としよりの家等の利用者数について

Q 利用者数が年々減少しているが、理由は何か。

A 高齢者の嗜好やニーズの変化によるものと考えています。

意見 浴場がある施設を有料化したことも利用者数減少の一因と思われるので、入浴料の引き下げや再度の無料化を検討してほしいとの意見があった。

保育園の施設整備について

Q 家庭での洋式トイレの普及率を考えると、保育園では洋式トイレが不足していると思うので、和式トイレの上に被せる等の簡易な工事で暫定的に洋式トイレにすることはできないのか。



A 簡易な工事では、安全性の問題があるため、慎重に検討します。

意見 共働き世代が増えたこと

により、保育園によっては入園を希望しても、定員の都合で兄



弟姉妹が一緒に入園できないという状況があるため、保育園の園舎拡張を含めて、解決に努めてほしいとの意見があった。

地域自殺対策事業について

Q 本事業の一環として開催したゲートキーパー養成研修の今後の方針はどう考えているのか。

A 平成29年度は、民生・児童委員のみを対象に開催しましたが、30年度は市民も受講可能としているので、今後はより多くの方に参加していただきたいと考えています。

特定健康診査時の体力測定について

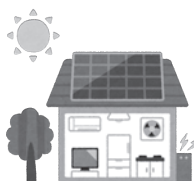
意見 他市では特定健康診査と共に体力測定を行っているところがある。保健センター等の公衆施設を活用して、このような事業を特定健康診査のメニューの1つとして加えるよう検討してほしいとの意見があった。



住宅用太陽光発電システム設置補助事業について

Q 市が試行で作成した「行政評価結果報告書」によると、温室効果ガス排出量の増加により、地球温暖化防止に関する評価が低くなっている。住宅用太陽光発電システム設置補助の申請件数が減少していることも一因と思われるが、この関連性についてどう分析しているのか。

A 温室効果ガス排出量増加の原因は、市内における産業活動の活発化によるものと分析しています。申請件数の減少は、余剰電力の買取単価が低下しているためと推測しており、これと排出量増加との関連性はなかと見ています。



事業所内における保育施設の整備に対する補助制度について

Q この制度の周知はどのように行われたのか。また、平成29年度は1事業所に補助が行われたが、30年度の申請状況はどのようになっているのか。

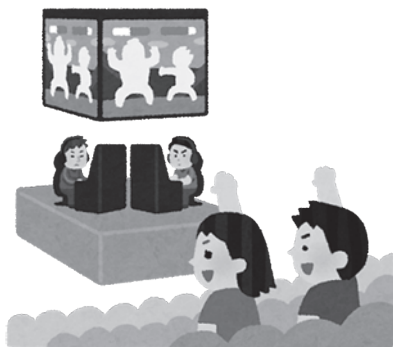
A 補助制度の広報は市ウェブサイトに掲載や、国の補助事業への申請を行った事業所に対

する案内をしています。また、平成30年度の状況は、1事業所からの申請のほかに、3事業所が国の補助採択を受けています。

eスポーツについて

Q eスポーツは、先日開催されたアジア競技大会で正式種目となり、オリンピックにも採用される可能性がある競技である。市内企業の製品がアジア競技大会では採用されたが、この企業と協働してeスポーツを本市で根付かせることは考えているのか。

A 担当職員が既にこの企業と折衝しています。本市においてeスポーツイベントの開催ができる土壌作りを行い、市の活性化につなげられるような取り組みを検討していきます。



下水道使用料金改定について

Q 平成29年10月から下水道使用料金を改定したことで増収となったが、その収益はどのように分配するのか。

A 下水道使用料による収益は、下水道関連施設の維持管理費用に充当し、さらに利益を計上した場合は、減債積立金に積み立て企業債の償還に充てます。

雨水貯留浸透施設の設置に対する補助制度について

Q 浄化槽転用貯留槽や雨水タンクへの補助金交付件数が平成28年度実績より減少したこと、浸透枘・透水性舗装についてはここ3年で実績がないのはなぜか。

A この制度を平成14年度から開始して年数が経過しているため、補助を希望する人が頭打ちになっているものと考えています。

意見 これまでに実績もあり、効果も見込め、制度の意義はあると思われる。この補助制度の優位性をPRする方法や対象を見直すなどして、新たな補助希望者の掘り起こしに努めてほしいとの意見があった。

自転車ネットワーク計画策定について

Q 安全で快適な自転車利用環境を創出するため、一宮市自転車ネットワーク計画を平成29、30年度で策定することであるが、「優先的計画策定エリア」の設定と「自転車ネットワーク候補路線」の選定はどのように行ったのか。

A 「優先的計画策定エリア」は、市内の自転車通行量等を把握した後、市域を1kmごとに分け、自転車利用の発生・集中の多いエリアの中で、警察から提供された自転車事故多発エリアを選んで設定しました。

「自転車ネットワーク候補路線」は、市民アンケートにより抽出した自転車利用ニーズや利用量の多い路線と、自転車事故多発路線を照合し、「優先的計画策定エリア」の中から、必要と認められたものを候補路線に選定しました。

意見 今後は、自転車道と車道の分離が困難な狭い道への対応や、交通事故防止のための、ドライバードライバーのモラル向上についても取り組んでほしいとの意見があった。

閉会中の継続審査

定例会（臨時会）中に提案された案件は、その会期中に結論を出すことが原則です。しかし、案件によっては、より慎重に審査をする必要があり、その会期中に結論を出せない場合もあります。このため、閉会中や次の定例会でも引き続き審査すること（閉会中の継続審査）ができるように議会で議決をすることが認められています。もし結論を出さないまま、閉会中の継続審査とする議決をしなないと、その案件は審議未了として廃案になり消滅してしまいます。

平成29年度の決算認定議案10件は、9月定例会で提案されましたが、より慎重に審査をするため、閉会中の継続審査とする議決をし、9月定例会閉会後の10月中に各常任委員会で審査しました。12月定例会の開会日は、その審査の結果が報告され、全て認定する議決をしました。

常任委員会

4つの常任委員会で議案を審査しました。

- ・紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。
- ・委員会記録は2月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

ID 1022724

総務委員会

特殊建築物等定期調査手数料について

Q 減額補正の理由が、公共建築物の点検を建築士などの資格のある者による点検から資格のない職員による自主点検に変更したためであるとのことだが、全ての公共建築物が対象になるのか。

A 建築基準法では、学校や病院、市営住宅などの特殊建築物は資格のある者の定期点検を義務づけていますが、倉庫など人の出入りの少ない一部の建築物は、市の建築審査会の同意を得ることにより、資格のない職員による自主点検にかえることができます。

地域集会所施設建設補助金について

Q 新たな補助金申請は、前回受給してから新築であれば20年、増築・改修であれば10年を経過しなければならぬが、自然災害による被害の修繕も、この要件を満たさなければいけないのか。

A 災害による修繕にかかわらず緊急を要する場合は、前回受給した補助金を年割りで返還すれば、新たに補助金申請をすることができません。

福祉健康委員会

産前産後期間の国民年金保険料の免除について

Q 制度や申請方法に関する周知はどのように行うのか。

A 広報やウェブサイトでの周知のほか、保健センターで母子健康手帳を交付する際にリーフレットを配布し、制度の案内を行う予定です。

Q 老齢基礎年金の受給額に影響はないのか。

A 産前産後を理由とした免除期間は、保険料を納付したものとみなすため、老齢基礎年金の受給額に影響はありません。



徘徊高齢者家族支援サービス事業について

Q 本サービスに使用しているGPS端末が少し大きく、使いづらいが、これにかわる新たなサービスの導入は検討されているのか。

A 他市において、ICTタグとアプリを活用したサービスや、誰でもわかるQRコードが記載されたステッカーを配布するといった新しい取り組みも始まっているため、情報収集をしていきます。

経済教育委員会

学校給食の中止に伴う食材のフードバンクへの提供について

Q 台風21号が本市に接近した際、学校給食の中止により廃棄となる食材を、フードバンクなどに提供することは考えたのか。

A フードバンク事業を運営している市内の団体に、給食の中止が予測された段階で相談した結果、調理場から持ち帰っていたなどなどの本市からの条件に加えて、受け入れ側の制約もありましたが、食材の一部を試行という形で提供することができました。



光明寺公園球技場メインスタンドの屋根改修工事について

意見 メインスタンドの屋根が台風21号により一部剥がれたため、屋根の改修工事を行うとのことだが、他の建設工事では資材が調達できず、工期が遅れていると聞いている。本市は「ラグビーワールドカップ2019日本大会」の公認キャンプ地なので、メインスタンドの工事といえども、グラウンドの使用開始時までには、工事を終えてほしいとの意見があった。

建設水道委員会

占用管理システム保守委託料について

Q 元号が変わるのは来年度なのに、なぜ平成30年度にシステム改修を行うのか。

A このシステムは、道路や河川、インフラ等に関する申請受け付けや発行書類の作成など、多くの事項を扱うため、改修には2、3カ月が必要で、よって、新元号の表示以外の改修を平成30年度に行い、4月に新元号が発表されてから5月1日に改元するまでに、平成31年度年間保守委託で新元号に表示を変更し、完成させます。

平和ポンプ場1号汚水ポンプ修理工事について

Q 旧市街地北西部の下水を西部浄化センターに流す4台のポンプのうち、主に稼働する1号ポンプが故障したことで、市民生活に影響はないか。

A 現在、2号ポンプをかわりに稼働させ、下水を流しています。夏の工事完了までに雨が降って送水量が増えることがあっても、残り2台のポンプの併用で対応できているので、市民生活に影響することはありません。

一般質問

※本稿は、質問者が作成しています。

12月定例会では15人の議員が一般質問を行いました。

- ・紙面の都合上、質問等の一部を掲載します。
- ・QRコードは各議員の録画映像へのリンクです。
- ・会議録は2月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

ID 1005109

服部 修寛 議員 (新緑風会)

教員の多忙化解消について

Q 県教育委員会の教員多忙化解消プランでは、来年度勤務時間外の在籍時間が月80時間を超過する教員を0にする事を目指している。達成は可能か。

A 多忙化解消検討委員会で協議し目標値に近づく様取り組んでいきます。

Q 部活動ガイドラインの策定状況と概要を報告して欲しい。

A 今年度中の策定を目指し、適切な休養日の設定や参加大会の見直し等来年度からの実施を検討しています。

重いランドセルの解消

Q 小中学生の登下校の重い荷物の負担軽減のため学校に置く事ができる教材を明確化し、学校で保管管理すれば児童生徒も安心して荷物を置いておく事ができると思うがいかがか。

A 日頃から置くことを認めている携行品については子どもや保護者に周知し、下校時の教室等の施設を徹底することを各学校に指導していきます。一括管理が必要なものがあれば各学校で柔軟に対応し、安心して荷物を置くことができる様に検討していきます。

Q 国は2020年度以降、デジタル教科書の本格普及を検討している。導入についてどのような考えを持っているか。

A 現状では環境面が整っていない事から導入は難しいです。



渡部 晃久 議員 (新政会)

一宮市立市民病院の駐車場整備について

Q 病棟に近い駐車場が少ないとの声がある。隣接する一宮商業高校のブルの敷地を駐車場へ転用できないか。

A 現在愛知県と協議しておりますが、なるべく早期に駐車場を整備できるように努力してまいります。

特定空家の措置について

Q 家屋の倒壊等の恐れがある「特定空家」、市はどのような手順で対応を行っているか。



A 助言指導→勧告→命令の順に措置を実施し、改善されない場合は最終的に「行政代執行」となります。但し財産権の制約を伴うことから慎重に手続きを進めていきます。

Q 瓦や壁等が落下し隣接家屋に被害が出た場合、その責任の所在は。

A 一般的には空き家の占有者または所有者の責任になります。

災害発生時の情報提供体制について

Q 避難所でもWi-Fiが必要と思われるが設置状況は。

A 12月2日にKDDIと締結する包括連携協定により、一部に設置される見込みです。



高橋 一 議員 (新緑風会)

民間福祉施設の停電対策

Q この夏の台風で一宮市内も大停電した。民間の福祉施設の緊急発電設備に市の助成制度を設けられないか。

A 国に土砂災害等に備えた補助制度があるため予定はありません。

市制施行100周年記念イベントについて

Q 一宮市の発展を語るうえで忘れてならないのが「宮空襲」。記念事業の柱にすることはできないか。

A 組織される実行委員会で検討を進めていきたいと考えます。

小中学校全教室エアコン設置について

Q この夏の小学校全教室への取り付けで、地元業者に対してどれだけの経済効果があったか。

A 管工事の6割以上を市内業者が担当、校舎全体の設置ノウハウは他都市での受注機会に繋がると考えます。

タワーパークマラソンの救護体制

Q AEDの配置など安心して走ってもらう体制はどのようになっているか。

A AED12台に医師2名、看護師3名、救急車1台とボランティアのドクターランナーで万全を期しています。



その他の質問項目
・民生委員の役割

中村 一仁 議員

(新緑風会)

受動喫煙対策の推進について

Q 子どもが利用する尾西図書館、玉堂記念木曾川図書館及び子ども文化広場図書館の敷地内にある屋外喫煙所を撤去できないか。

A 尾西図書館などにある屋外喫煙所は、撤去も含めて検討します。

Q 一宮駅東西の喫煙禁止区域の指定喫煙所にある灰皿を撤去し、完全禁煙区域化してはどうか。

A 健康増進法の改正に伴う屋外分煙施設の技術的留意事項に沿ってどのような改善が可能かどうか、総合的に検討します。



Q 受動喫煙防止条例の制定について考えてはどうか。

A 他都市の動向や市民及び関連団体の声を聞きながら慎重に検討します。

公契約条例の制定について

Q 一宮市において、公契約条例の制定に向けて、今後どのような課題の解決に取り組むのか。

A 一般競争入札の拡大やダンピング対策の強化など、さらに入札制度を見直す中で公契約の適正化を図りながら、公契約条例の制定に関して、引き続き検討します。



柴田 雄二 議員

(公明党)

「100万人訪問・調査」結果で見えてきた介護の課題について

Q 介護サービスを利用されている方の日常生活での困りごとに、通院、力作業、掃除等がある。こうしたちょっとした困りごとに支援ができないか。

A 要介護1〜5の方は、介護保険で洗濯、掃除などの家事援助や通院介助を、要支援1、2の方や事業対象者は、「あんしん介護予防事業」の家事援助を利用できます。どちらにも該当しない方や要介護者や要支援者でも介護保険サービスで利用できない庭の掃除や換気扇の掃除などは、「ちよこボラサービス」を利用していただけます。

Q 認知症の人への対応に困っている方が多い反面、認知症初期集中支援チームの周知度が低い。どのように普及啓発をしているか。

A 相談は、地域包括支援センターを通してチームで受けていましたが、今年度から直接受付に変更し、民生委員、ケアマネジャーや市広報などを通して普及啓発に努めています。

Q 生活支援体制整備事業の推進についてどのように取り組まれているか。

A 市全体の事業は、社会福祉協議会に委託し、各連区分は、地域包括支援センターに委託して事業を進め、地域の課題を地域の方々と協議し、個々の問題の解決に取り組んでいきます。



河村 弘保 議員

(公明党)

保育園のトイレ、空調整備の進捗

Q 市内の公立保育園のトイレの洋式化率は、63・6%まで進んでいる。しかし、園ごとによって開きが生じている。今後の洋式化への方針を問う。

A 市内全体を通して、洋式化率の低い園を中心に、順次、検討し、洋式化を進めてまいります。

Q 小・中学校の空調の整備も完了し、次は、体力的に弱い子供たちの通う保育園の全クラスに一日も早く、エアコンの設置を要望したいがいかがか。

A 乳児・年少児の保育室と遊戯室には全て設置が完了しています。年中、年長クラスにおいても、継続的に順次、エアコンの設置を進めてまいります。

スマホの充電スポット

Q 災害時、必要な情報を収集・発信することができるスマートフォン。バッテリー問題が懸念されている中、ひとが集まる駅や公園等に充電できるスポットの設置を検討してはいかがか。

A 各指定避難所に発電機を配置しておりますが、携帯電話端末の充電は想定しておりませんでした。今後、電源を提供できる企業との協定を推進していくとともに、ソーラーパネルが設置された公共施設での充電の可否についても調査を進めてまいります。



鵜飼 和司 議員

(一志会)

都市公園管理の現状と課題、新しい民間活力の導入について

Q 公園活用の幅と可能性をいかに広げられるか。魅力的な市内公園を市内外の皆さんに、PCやスマホからひと目で魅力を伝えられるように、ウェブサイトでワンタッチ操作により、その公園のイメージを映し出すことができるシステムの導入は可能か。

A 議員発言のとおり、有意義なことであり、ウェブサイトを管理運営しています情報推進課と調整を図ってみたいと考えます。

Q 公園数の増加や管理コスト高騰に伴い、膨らみ続ける維持管理費をいかに確保していくか。次の一手は「公園改革」である。現在、ネーミングライツ事業等で694万8千円の自主財源確保をされている。地域に親しまれる市内167の公園と地域に根ざした企業に協力を募り、年間契約を結ぶことで、企業名と協力内容を記載した広告看板を設置する「パートナーシップ協定」の創設は可能か。例えば、年間10万円で半数の公園で締結できれば、830万円の自主財源が確保できる。

A 公園を媒介にし、民間活力を導入するといった新しい形かと思えます。成立するための条件等、解決すべき課題が多いため、議員提案や紹介事例を参考に研究したいと考えます。



佐藤 英俊 議員

(新政会)

一宮市の文化芸術

Q 一宮市では、学校と美術館・博物館との連携による取り組みなどはあるのか。また、参加型プログラムは展開されているのか。

A あいちトリエンナーレ地域展開事業の一環として美術作家から児童たちが指導を受け、作品制作に取り組みワークシヨップを開催しました。参加型プログラムは、小学3年生が博物館で地域の人々の生活がどのように変わってきたかを「見る・聞く・調べる」といった具体的な活動や体験を通して考えさせる事業を毎年展開しています。

Q 文化庁の文化芸術創造拠点形成事業を活用してはどうだろうか。

A 経済部と教育文化部とが、相互に連携・協力し、新たな事業・施策の方向性の一つとして研究していきたいと考えています。

Q 過去に一宮市美術館及びギャラリーの創設に関する要望書が一宮市議会で諮られたか。

A 「一宮市美術館及び美術ギャラリー建設」の請願書が、平成12年2月18日に一宮市議会へ提出、受理されました。当時の一宮市議会総務文教委員会において審査され、平成12年3月27日付の請願書審査結果報告書の意見及び審査結果の中で「趣旨を妥当と認め趣旨採択」とされています。



島津 秀典 議員

(新政会)

免震装置データ改ざん問題と本庁舎の安全性について

Q 市役所本庁舎に、改ざん問題の免震オイルダンパーが使用されているとのことだが、現状の安全性と取り換え工事の見込みは。

A より安全率を高めた設計であったので、国土交通大臣の認定基準は満たしています。当市ではメーカー側で正規品との交換工事の早期実施を求めました。

狭あい道路対策について

Q 狭あい道路と呼ばれる幅員の狭い道路は、交通の妨げばかりが震災や火災時に緊急車両の通行が困難である。幅4mの道路とするために民地の寄付を受け、その測量、分筆費用を市が補助できる施策は考えられないか。



A 民間より寄付される敷地の用地測量や分筆等にかかる費用については、厳しい財政状況下で様々な問題があります。他市の状況を参考に関係課連携して研究していきたいと考えています。

その他の質問項目

- ・台風接近における避難所の運用について
- ・五輪開催気運の高まりを契機にスポーツによる地域活性化を



竹山 聡 議員

(新政会)

一宮市の学校教育について

Q 教職員の多忙化解消に向けて、どのような取組みをしているのか。

A 一宮市教職員多忙化解消検討協議会を立ち上げ、学校閉校日の実施やICT活用を踏まえた事務の標準化、外部人材の活用、タイムレコーダ導入による勤務時間の管理などの協議を進めています。

Q 一宮市には多忙化解消に向けた具体的な計画を示して欲しい。

A 多忙化解消に向けて、できるところから順次進めていき、プラン作成については多忙化解消検討協議会で検討します。

Q 児童生徒の健康は第一だが、エアコン設置により学習環境が改善されたので夏休みなどの長期休業期間の変更を検討してはどうか、また学校閉校日の実施についても、他の長期休業でも実施してはどうか。

A エアコン設置により学習意欲のみでなく健康面でも環境が大きく改善されました。教職員の現状は、夏休みなどは集中研修や部活動、校外活動の準備など、夏休みだからこそのできる内容の勤務が多くあります。長期休業は子どもにとっても意義深い期間なので、変更は簡単なことではないと考えています。学校閉校日は、夏休み以外でも実施できないか検討します。



西脇 保廣 議員

(新緑風会)

バスについて

Q 利用者の利便性向上にコース変更やバス増設などできないか。

A 利用状況や地域のニーズを見ながら協議する必要があると考えています。

公共施設について

Q 今夏休場した尾西プールの今後はどうやっていく考えか。

A 富田山公園再整備についての検討結果を見ながら、総合的に判断していきます。

都市計画道路について

Q 木曾川玉野線を南へ延伸し、尾西工業団地につながる計画はあるのか。

A 計画はございませんが、県による北尾張中央道と新濃尾大橋に接続する萩原祐久線の整備により、尾西工業団地へのアクセス機能も充実するものと考えております。

Q 三条地区で進められている北尾張中央道の整備進捗状況は。

A 現在は起街道から県道一宮大垣線までの用地取得と工事を鋭意進めていると聞いております。

Q 新濃尾大橋の工事の進捗状況は。

A 橋脚八基のうち愛知県側の四基が完成し、三基の工事を進めており、最後の一基の橋脚工事も今年度内発注が予定されており、進捗状況は良好です。



森 利明 議員

(一志会)

選挙の期日前投票所について

Q 来年は我々議員にとつては、四年に一度の市議会議員の改選の選挙が行われる年。なぜ四年に一度、統一地方選挙が行われるか。

A 選挙の円滑な管理執行と選挙経費の節約を期するとともに、国民の地方選挙に対する関心を高める意味において、臨時特例法により地方選挙を統一して行うようになりました。

Q 市長選挙が告示日に立候補者が一人だけだと無投票となるが、その時の選挙費用はどれほどかかるか。

A 仮に無投票となっても、告示日までには必ず準備が必要なポスター掲示場設置に関する費用をはじめ、投票用紙や選挙お知らせ券の作成費など二十万円ほどかかることとなります。

Q 平成27年に実施された、市議会議員選挙の期日前投票をされた人数を教えてください。

A まだ、この時は、イービルの期日前投票所はありませんでしたが、23194人で全体の16.47%でした。

Q 今後、期日前投票所を増設する予定はあるか。もしあるとすれば市民の利便性を考えれば、国道22号より東部に新たに期日前投票所を設置してはどうか。

A かねてから調査・検討は行っていますが、今後検討をしたいと思えます。



平松 邦江 議員

(公明党)

がん対策の取り組み

Q がんの1次予防・2次予防の取り組みと課題についてどう考えるか。

A 喫煙や過剰飲酒、肥満・やせ、野菜不足など予防可能なリスク要因の啓発と、各種がん検診を実施しています。がん検診受診率と精密検査受診率が目標に達していない事が課題です。

Q 市民病院の取り組みはいかがか。

A がんの治療法4つすべてを行っています。がん相談支援センターを開設し、AYA世代への相談やアピアランスクエアも行っています。

Q がん教育の取り組みはどうか。

A 国の平均より上回る率で実施しています。生徒の感想も好評で今後も進めてまいります。

健康寿命について

Q 健康寿命延伸のための市の対策を伺いたい。

A 健康日本21いちのみや計画で全体目標の一つに掲げ、ライフステージに応じた適切な支援と、身近で健康づくりができる環境を整える取り組みを進めています。

Q 限られた人だけではなく無関心層へも届くウォーキングアプリなど、総合的で充実した取り組みを要望する。

A スマートフォンを活用した健康づくりも検討します。



彦坂 和子 議員

(日本共産党一宮市議団)

介護保険の負担軽減

Q 今年から介護保険料が上がり、暮らしが大変との高齢者の声がある。次期計画に向けて、介護保険料の引き下げを検討してほしい。

A 国でも第8期の計画について具体的な議論がされていませんので、これからの国の動向を注視していきます。

Q 乳がん検診の受診率が減少しているのは、自己負担額が平成29年度に500円から1000円に引き上がったことが大きく影響していると考えられる金額に戻すことを検討してほしい。

A がん検診の費用は、長い目で見れば医療費の抑制につながることは承知していますが、厳しい財政状況ですので、ご理解をお願い致します。

Q 今後の学校給食調理場の整備について

A 旧一宮地区の2つの調理場を更新する基本計画、新たな共同調理場についての整備運営計画、事業手法の検討は、子どもの未来に関わる、今後数年に渡る重要な事業である。市民への説明会を開催してほしい。

A 説明会開催については特に考えていません。整備予定地の地元への説明会は、適切な時期に開催します。



尾関 宗夫 議員

(日本共産党一宮市議団)

Q 水道の民営化・広域化でなく持続可能な水道事業を

A 6月の大阪北部地震や山口県周防大島町・大島大橋へのタンカー衝突事故による長期断水などから、水道事業広域化についての考え方は。

A 愛知県主体の「水道広域化研究会」に参加し研究しています。水道法が改正されても水道料金への影響もあり慎重な判断を求められるため、すぐに広域化へ進む状況ではありません。

Q 水道事業の民間委託について、今後の計画は。

A 佐千原浄水場の中央監視設備の更新事業でPFI導入を考えています。

Q 民間委託を進めるうえで、水の安全・安心について持続可能な水道事業としての考えは。

A 水の安全・安心に係る水質検査において検査の技術や信頼性を確保している化学の専門知識を有した職員で行っています。施設の修繕・改良事業の設計・現場監督についても、土木・電気・機械の専門知識を有した職員が行うことで技術の継承を行っています。現段階では、水道法が改正された場合でも、すぐに広域化、民営化に進む状況ではないと考えています。

その他の質問項目

・保育事業は地域の実情と住民要望に沿った政策で



議案・請願審議結果

平成30年12月定例会では市長提出議案45件、委員会提出議案1件、議員提出議案1件、請願書4件を審議しました。

ID 1027177

議決結果一覧表

| 議案番号 | 件名 | 付託委員会 | | | | 議決結果 |
|--------|--|-------|---|---|---|------|
| | | 総 | 福 | 経 | 建 | |
| 認定 1 | 平成29年度愛知県一宮市水道事業会計決算の認定について | | | ● | | 認定 |
| 認定 2 | 平成29年度愛知県一宮市下水道事業会計決算の認定について | | | ● | | 認定 |
| 認定 3 | 平成29年度愛知県一宮市病院事業会計決算の認定について | | ● | | | 認定 |
| 認定 4 | 平成29年度愛知県一宮市一般会計歳入歳出決算の認定について | ● | ● | ● | ● | 認定 |
| 認定 5 | 平成29年度愛知県一宮市競輪事業特別会計歳入歳出決算の認定について | | | ● | | 認定 |
| 認定 6 | 平成29年度愛知県一宮市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について | | ● | | | 認定 |
| 認定 7 | 平成29年度愛知県一宮市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について | | ● | | | 認定 |
| 認定 8 | 平成29年度愛知県一宮市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について | | ● | | | 認定 |
| 認定 9 | 平成29年度愛知県一宮市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について | | | | ● | 認定 |
| 認定10 | 平成29年度愛知県一宮市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について | ● | | | | 認定 |
| 市長提出75 | 平成30年度愛知県一宮市一般会計補正予算 | ● | ● | ● | ● | 可決 |
| 市長提出76 | 平成30年度愛知県一宮市競輪事業特別会計補正予算 | | | ● | | 可決 |
| 市長提出77 | 平成30年度愛知県一宮市国民健康保険事業特別会計補正予算 | | ● | | | 可決 |
| 市長提出78 | 平成30年度愛知県一宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算 | | ● | | | 可決 |
| 市長提出79 | 平成30年度愛知県一宮市介護保険事業特別会計補正予算 | | ● | | | 可決 |
| 市長提出80 | 平成30年度愛知県一宮市簡易水道事業特別会計補正予算 | | | | ● | 可決 |
| 市長提出81 | 平成30年度愛知県一宮市公共駐車場事業特別会計補正予算 | ● | | | | 可決 |
| 市長提出82 | 平成30年度愛知県一宮市病院事業会計補正予算 | | ● | | | 可決 |
| 市長提出83 | 平成30年度愛知県一宮市水道事業会計補正予算 | | | | ● | 可決 |
| 市長提出84 | 平成30年度愛知県一宮市下水道事業会計補正予算 | | | | ● | 可決 |
| 市長提出85 | 一宮市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について | ● | | | | 可決 |
| 市長提出86 | 特別職員の給与に関する条例の一部改正について | ● | | | | 可決 |
| 市長提出87 | 一宮市職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について | ● | | | | 可決 |
| 市長提出88 | 一宮市手数料条例の一部改正について | | | | ● | 可決 |
| 市長提出89 | 一宮市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について | | ● | | | 可決 |
| 市長提出90 | 一宮市休日・夜間急病診療所の設置及び管理に関する条例の一部改正について | | ● | | | 可決 |
| 市長提出91 | 展望塔の管理及び運営に関する条例の一部改正について | | | | ● | 可決 |
| 市長提出92 | 一宮市尾西歴史民俗資料館条例の一部改正について | | | ● | | 可決 |
| 市長提出93 | 和解及び損害賠償の額の決定について | | | | ● | 可決 |
| 市長提出94 | 一宮市総合体育館等の管理に係る指定管理者の指定について | | | ● | | 可決 |
| 市長提出95 | 一宮地域文化広場及び尾西文化広場の管理に係る指定管理者の指定について | | | ● | | 可決 |
| 市長提出96 | 平成29年度愛知県一宮市水道事業会計利益の処分について | | | | ● | 可決 |
| 市長提出97 | 平成29年度愛知県一宮市下水道事業会計利益の処分について | | | | ● | 可決 |
| 市長提出98 | 光明寺公園球技場メインスタンド屋根改修その他工事の請負契約の締結について | | | ● | | 可決 |
| 諮問 4 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | | | | | 付託省略 |
| 諮問 5 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | | | | | 付託省略 |
| 諮問 6 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | | | | | 付託省略 |
| 諮問 7 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | | | | | 付託省略 |
| 諮問 8 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | | | | | 付託省略 |
| 諮問 9 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | | | | | 付託省略 |
| 諮問10 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | | | | | 付託省略 |
| 諮問11 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | | | | | 付託省略 |
| 諮問12 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | | | | | 付託省略 |
| 諮問13 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | | | | | 付託省略 |
| 諮問14 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | | | | | 付託省略 |
| 委員会提出6 | 認知症施策の推進を求める意見書 | | | | | 付託省略 |
| 議員提出2 | 自動車関係諸税の抜本見直しを求める意見書 | | | | | 付託省略 |

総務委員会、福祉健康委員会、経済教育委員会、建設水道委員会の略です。

青く色付けした議案は賛否の分かれた議案です。

賛否の分かれた議案について、議員の賛否は下記のとおりです。(○は賛成、×は反対)

氏名の掲載は会派別に五十音順です。

| 会派名 | 新政会 | | | | | | | | | | 一志会 | | | | 公明党 | | | 新緑風会 | | 共産党 | 自民 | 愛西 | 改革 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-------|------|-------|------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------|-----|------|------|------|------|-------|------|-----|------|------|------|------|------|------|-----|------|---|---|---|---|---|
| 氏名 | 浅井俊彦 | 井田吉彦 | 井上文男 | 岡本将嗣 | 佐藤英俊 | 島津秀典 | 竹山聡 | 則竹安郎 | 長谷川八十 | 花谷昌章 | 日比野友治 | 横井忠史 | 和田彌一郎 | 渡辺之良 | 渡部晃久 | 鵜飼和司 | 太田文人 | 大津純 | 京極扶美子 | 高木宏昌 | 松井哲朗 | 森利明 | 森ひとみ | 河村弘保 | 柴田雄二 | 平松邦江 | 水谷千恵子 | 渡辺宣之 | 高橋一 | 中村一仁 | 西脇保寛 | 服部修寛 | 尾関宗夫 | 彦坂和子 | 伊藤裕通 | 谷祝夫 | 末松光生 | | | | | |
| 市長提出85 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 市長提出86 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 市長提出92 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議員提出2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

※共産党=日本共産党一宮市議団、自民=自由民主党一宮市議会、愛西=愛西会、改革=改革クラブの略です。

閉会中の継続審査となった議案は下記のとおりです。

| 議案番号 | 件名 |
|------|---------------------------|
| 請願42 | 児童クラブの拡充を求める件 |
| 請願43 | 国民健康保険税の引き下げを求める件 |
| 請願44 | 小・中学校給食費の無償化あるいは一部補助を求める件 |
| 請願45 | 所得税法56条の廃止を求める件 |

国に意見書を提出しました

地方自治法第99条の規定に基づき、12月定例会では2件の意見書を議決し、平成30年12月17日に国と衆・参議院議長に提出しました。

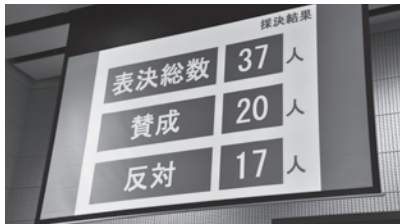


- ・ 認知症施策の推進を求める意見書
- ・ 自動車関係諸税の抜本見直しを求める意見書



意見書はウェブサイトで公開しています。

電子表決が始まりました



(イメージ画像)

各議案への賛成・反対の意思表示については、これまで議員が自席で起立するかしないかで行っていましたが、12月定例会からは、この賛成・反対の結果を、ご覧になる方に分かりやすくするため、各議員が自席のボタンを押し、その結果をシステムにより集計して表示する「電子表決」に変更しました。

次回3月定例会の日程(予定)

日程は変更になることがあります。 ID 1005106

| 本会議 | |
|----------|----------|
| 2月26日(火) | 開会・議案上程 |
| 3月 4日(月) | 一般質問 |
| 3月 6日(水) | 一般質問 |
| 3月 7日(木) | 一般質問 |
| 3月22日(金) | 討論・採決・閉会 |

- 開議時刻 ……午前9時30分
- 傍聴場所 ……本庁舎14階 議場傍聴席

| 常任委員会 | |
|----------|---------|
| 3月11日(月) | 総務委員会 |
| 3月12日(火) | 福祉健康委員会 |
| 3月13日(水) | 経済教育委員会 |
| 3月14日(木) | 建設水道委員会 |

- 開議時刻 ……午前9時30分
- 傍聴受付場所 ……本庁舎12階 議会事務局
- 傍聴受付開始時刻 ……午前9時(定員10名)

他自治体議会からの行政視察受入状況

ID 1003842

一宮市議会では、一宮市の特色ある事業や施設についての調査を希望する他自治体議会からの視察を積極的に受け入れています。

平成30年中(1月～12月)の視察受入団体(合計:64団体 489人)

- 北海道/旭川市議会、室蘭市議会
- 岩手県/大船渡市議会
- 宮城県/白石市議会、名取市議会、栗原市議会、大河原町議会
- 福島県/福島市議会、いわき市議会、二本松市議会
- 茨城県/水戸市議会、龍ヶ崎市議会
- 栃木県/小山市議会(2回)、真岡市議会
- 群馬県/前橋市議会
- 埼玉県/川口市議会、所沢市議会、戸田市議会、蕨市議会、志木市議会、新座市議会
- 千葉県/千葉市議会、松戸市議会、市原市議会、習志野市議会
- 東京都/東京都議会、文京区議会、世田谷区議会、新宿区議会、杉並区議会、三鷹市議会、八王子市議会(2回)、稲城市議会
- 神奈川県/秦野市議会、伊勢原市議会
- 富山県/富山市議会
- 石川県/小松市議会
- 山梨県/笛吹市議会、甲州市議会
- 岐阜県/飛騨市議会
- 静岡県/沼津市議会
- 愛知県/愛知県議会、豊橋市議会、北名古屋市議会
- 大阪府/岸和田市議会、東大阪市議会
- 兵庫県/西宮市議会、加古川市議会
- 奈良県/市議会議長会
- 和歌山県/紀美野町議会
- 岡山県/岡山市議会
- 山口県/周南市議会
- 徳島県/吉野川市議会
- 愛媛県/宇和島市議会
- 高知県/高知市議会
- 福岡県/久留米市議会(2回)、宗像市議会
- 熊本県/八代市議会
- 大分県/中津市議会、佐伯市議会
- 沖縄県/沖縄市議会

特に視察の多かった事業・施設

◎ 尾張一宮駅前ビル(i-ビル)

図書館・子育て支援施設のある複合ビル



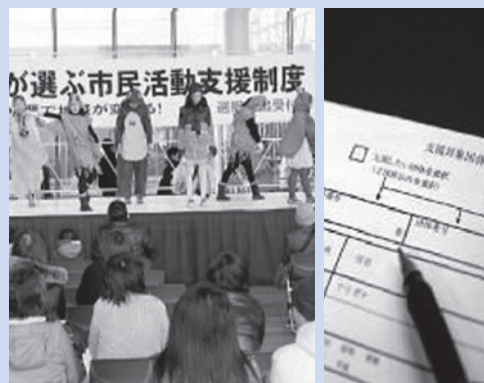
JR尾張一宮駅に隣接した公共施設と商業施設を有する複合ビルです。ビル内には、中央図書館や子育て支援センターなどがあり、交流・文化拠点としての役割も担っています。

半屋外となっているシビックテラスは、市民の“まちなか”の憩いの場となっており、イベントにも活用できる特徴的なスペースです。

○平成30年視察回数 …………… 9団体 (55人)

◎ 市民が選ぶ市民活動支援制度

市民税の1%相当額の使い道を市民が選びます



18歳以上の市民の方々が、支援したい市民活動団体の事業を選ぶことで、その選択結果に応じて市民活動団体への支援金額が決まる制度です。

中部地方では初となる制度で、全国でも同様の制度を導入している自治体は5市しかありません。

(平成30年4月現在)

○平成30年視察回数 …………… 16団体 (125人)

その他の主な視察項目

- 人型ロボット「Pepper」を使ったプログラミング教育について
- 移動子育て支援センター・子ども一時預かりについて
- PFI事業(民間のノウハウを活用した施設の整備・運営)について
- 障がい者支援施策について
- 新庁舎建設事業について
- 議会改革について





旧木曾川町会議事堂 現木曾川資料館

一宮市木曾川資料館。こ
こは旧木曾川町会議事堂。
大正13年(1924年)に建
てられました。木造2階建
ての寄棟瓦葺で、正面庇を
支える円柱は車寄せ。内部
は2階吹き抜けで正面に議
長席、2階には傍聴席があ
りました。議事堂が単独で
建てられたケースは珍し
く、往時の町の勢いを感じ
させます。和洋折衷の大正
ロマンあふれる当時の姿を

ほぼ残し、平成
27年には国の登
録有形文化財に
もなりました。
現在は木曾川資
料館として、山
内一豊(土佐藩
祖)や奥村永福
(加賀藩家老)な
ど、当地出身の
戦国武将を紹介
しています。



編集後記

市民の皆様のご要望にこたえ発刊を開始した議会だより138。号を重ねてくる中、各議員が議会事務局の協力を得ながら力を合わせ、編集作業もスムーズに行えるようになってきました。開かれた議会を目指し、編集委員一同、今後もより公正で読みやすく、わかりやすい紙面づくりに努力してまいります。

議会だより編集委員会

委員長 島津 秀典

副委員長 鵜飼 和司

委員 渡部 晃久

河村 弘保

高橋 一

彦坂 和子

末松 光生

飲食物は出しません、陣中見舞い(飲食物)もお断り

4月21日(日)は一宮市議会議員一般選挙が行われます。わたしたち議員はお金のかからない清潔な選挙実現のため、公職選挙法のルールを守って「選挙事務所での飲食物の提供はしない(選挙運動員に対して認められている弁当は除く)」、「陣中見舞いの飲食物(弁当・酒・ビールなど)は受け取らない」ことを申し合わせいたしました。

一宮市議会



議会だより138についてのご意見をお聞かせください。(一宮市議会事務局 議事調査課 Tel. 0586-28-9139)

一宮市議会の情報については、一宮市のウェブサイト
(ホームページ)からご覧いただけます。

ID 1000010



一宮市マスコットキャラクター
いちみん